



「三年間の思いを一つに」

墨坂中学校 親善音楽会社行会前。「やっと歌える。悔いを残さない!」気持ちガビシッとそろった歌声が響きました。詳細は本校HPにて。



「運動会の表現種目」

仁礼小学校 運動会の華である高学年による表現種目は、2年連続「フラッグダンス」を行いました。色とりどりの旗が揃って動く様はとっても美しく、運動会に花を添えました。

フォトギャラリー 「輝く一枚」



「第二十一回中学生議会」

高山中学校 村の議場で実施した今年度の中学生議会。3年生が議員となり、質問、提案を述べ、村の方と共に、故郷高山について真剣に考えました。



「輝く笑顔」

小布施中学校 全校生徒の工夫と協力文化祭が実施されました。写真は、体育祭の「全員じゃんけん」での一場面です。秋空の下、笑顔が輝きました。



「1年生を迎える会」

井上小学校 「対面したいな」と「ソーシャルディスタンス」と「1年生を支えたい」が生み出した二重の円。6年生の大きな背中が頼もしい…



「千歯扱きを使って脱穀体験!」

栗ガ丘小学校 千歯扱きで脱穀の体験をした5年生。稲ともみを仕分ける地道な作業に苦戦しましたが、キラキラと目を輝かせ作業に没頭していました。

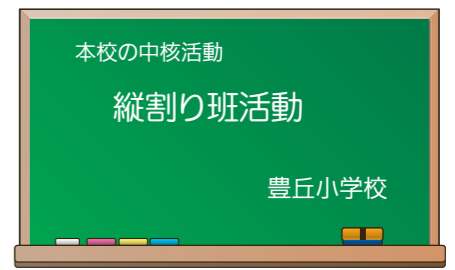


「地域に学ぶ」
日滝小学校 三年生は六月から九月にかけて、巨峰の「房切り」「摘粒」「袋かけ」「収穫」の作業を体験しました。



「りんご体験学習!!」

高山小学校 4月より地域の畑でりんご作りを体験させていただいている3年生。11月半ばには、真っ赤な高山りんごを収穫する予定です。



豊丘小学校は全校児童数五十八人の、須坂市内で最も規模の小さな小学校で、一年生から六年生までお互いに名前を呼び合うとても仲のよい学校です。

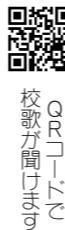
本校で年間を通して大切にしている活動が「縦割り班活動」です。全校児童を六つの班に分けて、「春・秋のなかよし集会」「縦割り班カレー作り(今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)」「縦割り清掃」「縦割り班遊び」等の活動を行っています。運動会の種目にも縦割り班での種目を取り入れています。学年による体力や考え方の違いがある中で、どうしたらみんなが楽しい思いをもつことができるのかを、実際の活動を通して子ども達は学んでいきます。高学年の姿に低学年



「縦割り班活動」によって培われた思いやりの気持ちや、子どもたちを通して豊丘の地に広がり、心暖かい地域愛となつて学校を支えていただいていることを実感します。(高橋 廣貴)

本校の宝 79

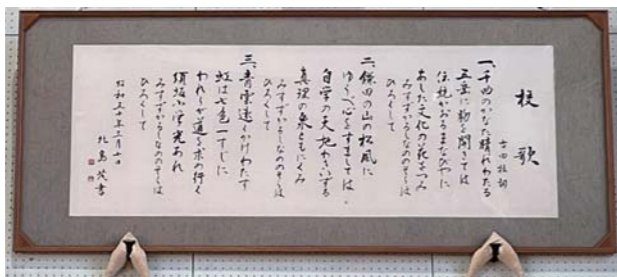
我が校の宝「校歌」



校歌が聞けます

須坂小学校

須坂小学校は、今年度で創立百四十八年を迎えます。長い歴史の中で、昭和初期の校歌を経て、昭和二十八年以降、現在の校歌が歌われています。この校歌の音楽的な特徴の一つには、音域が広いことがあげられます。原調はホ長調ですが、現在はへ長調で歌わ



れていて、最後の音は高い「ファ」です。最後の音がこれだけ高い音になる校歌はあまりないと思います。それでも子どもたちは、高い「ファ」を頑張りたくて歌っています。

「三番の最後に歌われる歌詞にあるのではないかと考えています。一三番の最後は「いずれも、みすずかる。しなのの空は、広くして広くして」で締めくくられます。子どもたちは、どこまでも広い空のように未来に向かって頑張ろうという歌詞の内容と、須坂小学校から見る景色ができる青い空の様子を無意識のうちに重ね合わせているように思うのです。だから、自分が描く青い空のイメージに近づこうと高い声を出そうとしているのだと思います。

さて、須坂小学校の教育目標は「学び続ける児童の育成」あした文化の花をつみ 真理の泉ともに汲み 我らが道を求めゆく」です。これは、校歌一三番の前半の歌詞の一部です。重みのある言葉で、子どもたちは、今は歌詞の意味をすべては理解できないかもしれませんが、しかし、校歌の音楽とともに記憶に残り、この先、体験を通して、言葉の意味を理解し、実感する時があると感じています。その時が来るまで記憶に残るよう、歌詞と音楽を大事に指導していきたいと思っています。(宇治 香苗)